

ひろしまジュニア国際フォーラム宣言

2016年8月23日

私たち、県内及び16か国・地域の中高校生及び留学生は、広島に集い、「ひろしまジュニア国際フォーラム」に参加しました。過去から学び、現在の世界が直面する課題に向き合い、そして、私たちがどのような貢献ができるのかを、議論するためです。

広島は71年前の8月6日、核兵器によって破壊されました。核兵器によって、広島にあった多くの人々の命が失われ、家族や地域の歴史が失われました。被爆者証言や平和記念公園への訪問を通じて、私たちは残された人々が、世代を超えて放射線障害による恐怖にむきあってきたことがわかりました。核兵器による破壊を経験した人々は、同じ思いを他の人々にさせてはならないと、核兵器の非人道性を世界に向けて発信し続けてきました。

広島は、時をかけて活気ある都市へと復興を果たしました。現在、多くの人々が世界から集い、その活力ある姿を目にしています。このような広島の現在の姿は、内戦や混乱により被害を受けたコミュニティに対して、完全に破壊されたコミュニティもまた、必ず復興するという証左を与えています。

私たちは広島に集い、広島が世界に発信してきた2つのメッセージを新たに確認しました。それは核兵器廃絶への信念と、そして将来において復興が可能であるという考えに基づく強い信念であります。

世界には依然として15000を超える核兵器が存在します。核軍縮の動きが停滞する中、核兵器の改良の動きも進んでいます。兵器の非人道性に着目する時、このような事実、私たちは強い危機感を共有します。

さらに現在、内戦や混乱によって多くの無辜の市民の命が失われています。多くの人々の、日々の暮らしが脅かされ、未来への希望を絶たれていることに対して、私たちは心を寄せます。

私たちは、多くの困難と課題に直面しています。私たちは広島でそれらに向き合い、3日間の学びと議論を通じて、以下の認識に至りました。

■ 核兵器廃絶

核兵器廃絶にむけ、私たちは下記の5つの課題を確認しました。

- (1) 私たちは、国家間の相互不信を認識します。相互不信が不安を助長し、国家は、核抑止に基づいた考えに固執する傾向があります。
 - ✓ 抑止に基づいた考えを変えるためには、非核兵器保有国と市民社会はプレッシャーを維持するべきである一方、このプロセスは友好的に行われることが保証されるよう努力すべきである。
 - ✓ さらに、世界のリーダーたちは、相互理解と信頼醸成努力を強化することにより、この考えを変えていくべきです。相互の信頼は、一步一步達成されるでしょう。信頼醸成を通し、紛争の

平和的解決が達成されるでしょう。超大国は、このプロセスをリードしていく特別な責任があります

- (2) 私たちは、核兵器保有国が核兵器を維持する理由のひとつは、核兵器に関連する兵器産業のためだと認識します。そのような産業は、抑止に基づいた考えを捨てることを難しくさせ、また、政府はこのような産業を保護し、莫大な軍事費を使い続けます。
- ✓ 当該課題に対し、市民社会は軍事産業や核兵器産業に関係した財政機関に対し、声を上げるべきです。
 - ✓ 必要ならば、制裁や禁輸が国際社会にとって、選択肢となります。
 - ✓ さらに、市民社会は、資金の流れをコントロールする規範の強化と国家予算配分の修正について、政府に圧力をかけるべきです。
- (3) 私たちは、核兵器の誤用の高リスクや偶発的な核兵器の発射の可能性を認識します。
- ✓ 短期的には、私たちは核兵器をコントロールする能力を高める必要があります。しかし、もっとも根源的で信頼性ある解決方法は、私たち皆が知っているように、廃絶です。軍縮の過程に於いて、市民社会は政府に対して具体的な目標と時間枠を設定するよう圧力をかけるべきです。
 - ✓ 私たちは、核兵器に頼らない紛争解決の新たな方法について調査するよう、政府に対して働き掛けるべきです。
- (4) 私たちは、核兵器に関連する情報が十分に公開されていないことを認識します。
- ✓ 当該課題に対し、市民社会は核兵器保有国に対し、更なる透明性をはかるよう、プレッシャーをかけるべきです。
- (5) 私たちは、人々が核に関する問題について無関心であることを認識しています。さらに、私たちは、被爆者の高齢化により直接学ぶことが出来る時間が限られていることを知っています。
- ✓ 市民社会は、様々な手段（例えば、展示、バーチャル博物館、ソーシャルメディアなど）で情報を広める一層の努力が必要です。
 - ✓ 認識を高めるためには、私たち若者は、正規教育、特に初等教育において核兵器の威力や悲劇についてもっと強調することを提案します。
 - ✓ 私たち若者は、人々に広島と長崎への訪問を呼び掛けます。また、世界中にいる核実験により被爆したすべての人の存在についても、決して忘れてはなりません。
 - ✓ 共感や思いやりの力を信じながら、私たち若者は、若者のネットワークを広げたり署名活動を広めることにより、人々の認識が高まるよう努力します。また、私たちは、友達や隣人さらに対立する相手に対しても、愛し尊敬すべきであることを心に留めておきます。

私たちは、もう一つの課題を認識します。

- 核不拡散条約（NPT）は核軍縮を前進させるためには十分ではありません。
 - ✓ 核兵器を禁止し、廃絶させるためには、私たちは、世界中すべての国が新しい国際条約に署名することを提案します。私たちは、非核兵器国の団結は、そのような努力を大いに支援すると考えます。

■ 復興・平和構築

復興・平和構築に向け、私たちは下記の5つの課題を認識します。

- (1) 私たちは、文化、宗教、歴史的な出来事による誤解がしばしば差別につながると認識します。それが、個人の原理的な行動、例えばテロを起こす可能性があり、極限的な場合には、武力紛争につながります。
 - ✓ 当該課題に対し、私たちは、世界中のリーダーたちに対し、寛容で協力的な多文化社会をつくるための平和教育を促進することを提案します。
 - ✓ 当該課題に対し、私たち若者は、異なる価値観を持つ人々に対し、偏見を持たず、真摯になるための責任があり、また次世代にこの価値観を引き継いでいく責任があります。

- (2) 私たちは、今日の世界で不平等が拡大し、この不平等と水不足のような環境悪化が武力紛争のもとになっていることを認識します。
 - ✓ 当該課題に対し、私たちは、各国主導の重要性を認識する一方で、世界のリーダーたち、企業、そして市民社会が、紛争後の国々に向けて継続的な支援の実施を示すことを提案します。
 - ✓ 当該課題に対し、われわれ若者は、市民社会の一員として、寄付をすること、または広く一般市民にこの問題について知ってもらうことが出来ます。

- ✓

- (3) 私たちは、国民の声を聴かず、また国民が望まない紛争を続け、時に国民から搾取する政府の存在を認識します。
 - ✓ 当該課題に対し、私たちは世界の指導者たちが紛争を終結させ、将来にわたって予防すること、そして国民の意思を反映したガバナンスを促進することを推奨します。

- (4) 私たちは、全世界において男女平等の社会が実現されていないことを認識します。例えば、世界のあ
る地域では、少女が安全な環境において勉強をすることができません。
 - ✓ 当該課題に対し、私たちは、世界の指導者たちが特に初等・中等教育は特権ではなく、保護されるべき権利ということを（再）確認することを推奨します。私たちは、世界中の指導者たちが民間企業や社会全体との連携により、すべての女性や子供の教育を受ける権利を促進する国際法を尊重することを再認識させます。

- (5) 私たちは、復興・平和構築において無関心が最大の課題であることを認識します。
 - ✓ 当該課題に対し、私たちはメディアやソーシャルネットワークを活用して、国際社会での関心を高めるためのキャンペーンの実施を提案します。
 - ✓ 私たち若者は、国際社会の一員としての責任を持つため、例えば読書などにより当該課題に関する理解を深めます。

■ 広島に期待する役割

広島は世界をまとめる最も影響力のある場所の一つです。そのような信念のもと、私たちは広島に対して世界平和を促進することを期待します。

(1) 私たちは広島県に対し以下の通り提案します。

- ✓ 被爆者の経験を若者に伝える努力を継続すること、若い世代の平和に関連する活動を支援すること、特に被爆者の経験を世界に発信すること（例えば、インターネットを活用する、広島で起こった出来事について英語で話すことができる大使を任命することなど）
- ✓ 若者が広島について学ぶ機会を提供するイベントを推進すること（例えば、ひろしまジュニア国際フォーラム）や、世界中の人々を魅了する国際的なイベント（国際平和コンサート、平和マラソン、国際平和コンテスト、平和賞）を主催することにより、国際交流を促進すること。そして、海外から広島に人々を招待すること（例えば、留学生や核保有国から若者を呼ぶこと、開発途上国から人を呼ぶことなど。）
- ✓ 正規教育における平和、核軍縮・核不拡散教育のカリキュラムを改善すること
- ✓ 世界の指導者たちを広島に招待し、平和のメッセージを自国に持ち帰り、人々に共有できるようにすること
- ✓ 核の被害を経験した他の地方政府との連携を促進すること
- ✓ 平和に関する活動、研究、機関に対する財政支援を行うこと
- ✓ 空港や駅などの公共施設を、芸術作品やポスターなどにより平和を意識させるよう改善すること

(2) 私たちは市民社会と広島の人々に対し以下の通り提案します。

- ✓ 特に広島と同様の努力を行っている都市や国のために、広島で起こった出来事を市民社会のネットワークを通じて世界中に共有すること
- ✓ 引き続き、若者が平和に関する活動に継続して参加できるようにしていくこと
- ✓ 芸術作品や映画などの平和に関する文化的な活動を促進すること

私たちは広島に集い、核兵器によるコミュニティの破壊と復興について、多くを学びました。そして、より平和な世界を作り上げることを志す、多くの仲間と出会うことができました。ここでの学びと私たちの絆を力に、私たちはそれぞれの場所で、平和な世界のための役割を果たしていくことをここに宣言します。

そして、このような気付きと仲間を手に入れる機会を、他の多くの若者も手に入れることを強く希望します。

私たちは、これから出会うであろう他の若い仲間たちが、私たちと共により平和な国際社会の実現にむけた力となることを確信します。